

平成31年度 放課後等デイサービス「かぜのおか」アンケート調査報告

1) 目的

放課後等デイサービス「かぜのおか」では現在行っている事業内容の見直しとより良いサービスの提供を目的に、事業者を対象にアンケート調査を行った。

2) アンケート調査の実施概要

- ・実施主体：社会福祉法人ラポール事務
- ・実施対象：放課後等デイサービス「かぜのおか」の職員5名
- ・実施期間：2019年2月1日～2019年2月15日

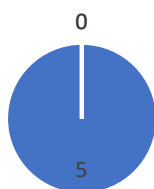
3) アンケート回収状況

- ・配布数 5枚
- ・回収数 5枚
- ・回収率 100%

4) アンケート調査結果

a)環境・体制整備

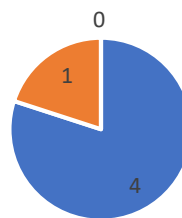
Q1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

1階2階ともにプレイルームがあるので、活動によって使い分けている

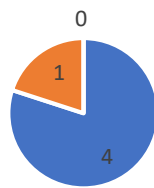
Q2 職員の配置数は適切であるか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

配置数の基準は満たしているが、対象児によっては足りないと感じることがあった

Q3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

手すりあり。車いす利用可。

b)業務改善

Q4 業務改善を進めるためのP D C Aサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか



Q5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか



Q6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか



Q7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか



公開する予定である。

HPへの公開はまだ。

事業所内には、掲示していた。

第三者による外部評価を実施していないと思われる児童福祉に携わる経験豊富な方による勉強会を開き、業務につなげたい

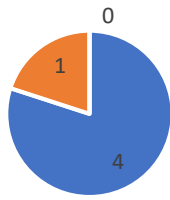
Q8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか



職員研修、外部研修に参加

c)適切な支援の提供

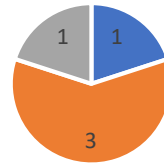
Q9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

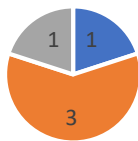
私自身作成していないので分からない
半年に一度実施
(ゲストの状況によってはその都度行う)

Q10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

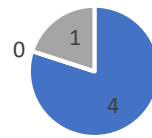
Q11 活動プログラムの立案をチームで行っているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

輪番で個人で行っているので、今後はチームで行うように改善する

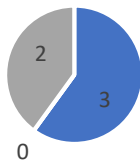
Q12 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

法人内の合同イベントは、チームで立案している

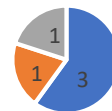
Q13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

活動担当を交代制にしている
(設定や活動内容を考えて実施)

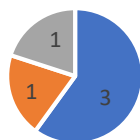
Q14 子どもの状況に応じて、個別活動を集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

ゲストによって考慮

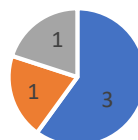
Q15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

朝礼にて実施
申し送り(前日の振り返り、報告)

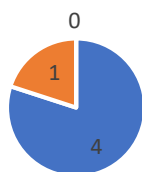
Q16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

必要時、送迎終了後に職員間にて報告しあう

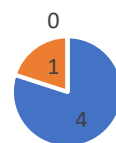
Q17 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

私自身が記録をとっていないので分からない

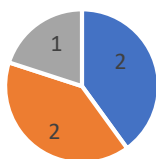
Q18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

私自身が作成していないので分からない
情緒面、行動面において変化がみられる際は見直し

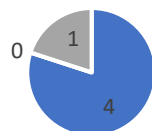
Q19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

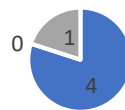
d)関係機関や保護者との連携

Q20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

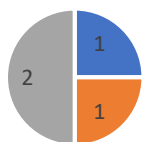
Q21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

分からない

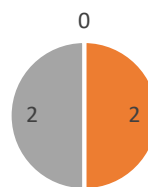
Q22 医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもと主治医等と連絡体制を整えているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

医療ケアが必要な子供の受け入れを行っていない
医療ケア必要者なし
受入体制が整っていない

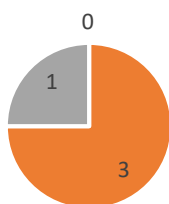
Q23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

分からない

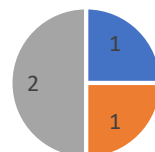
Q24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

分からない
進路先より尋ねられた際に情報を提供したことがある

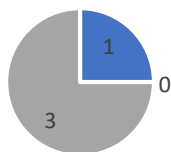
Q25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

分からない

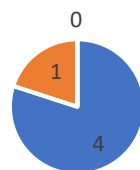
Q26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

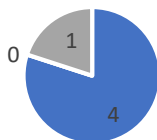
分からない

Q27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

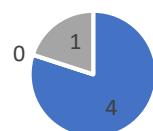
Q28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

なるべく共通理解できるように努めている

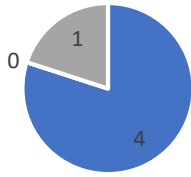
Q29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

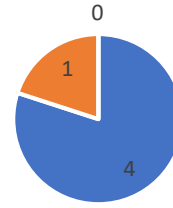
e)保護者への説明等

Q30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

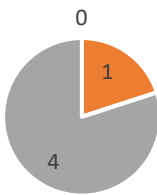
Q31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

職員によって差があると思う

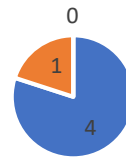
Q32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

保護者会なし

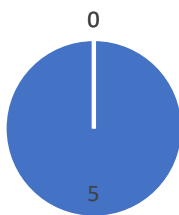
Q33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもの保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

職員によって差があると思う

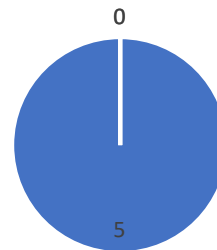
Q34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

広報誌、お便りにて

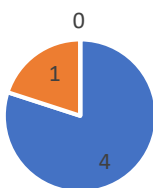
Q35 個人情報に十分注意しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

保護者へ確認、許可を頂いている

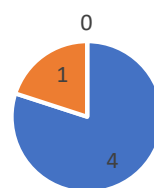
Q36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

職員によって差があると思う

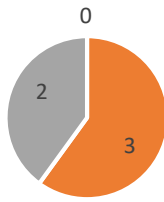
Q37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

f)非常時等の対応

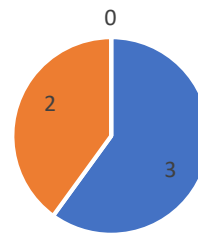
Q38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

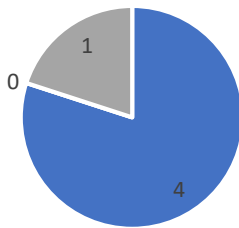
保護者への周知が欠けている

Q39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか



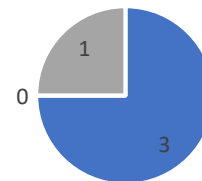
■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

Q40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

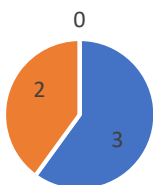
Q41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

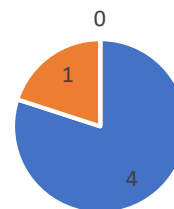
身体拘束を行っていない

Q42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

Q43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

5)まとめ

a)環境・体制整備については、適切であるとの意見であった。b)業務改善については、保護者への意向調査や研修への参加は実施しているものの、外部への周知に課題があることが分かった。c)適切な支援の提供については、活動内容をその月の担当者が主に決定しているのでチームでの取り組みに欠けていた。支援の評価については、毎日振り返りを行い、情報の共有が図れ、統一した支援を行うことができている。d)関係機関や保護者との連携 e)保護者への説明等については、保護者との連携は、面談や送迎時、電話連絡等で概ねできていると考えられる。しかし、相談事業所以外の関係機関（就学前の幼稚園や卒業後の進路先等）とは十分な連携を取っていない現状である。f) 非常時等の対応については、緊急時のマニュアルはあるものの活用できていないと考えられる。

6) 今後の取り組み（事業所向け）

活動プログラムを、担当者が中心ではなく職員全体で立案していく。それにより、より多面的な視点からのアプローチを図るようにし、質の高い活動プログラムを提供する。

活動プログラムを、担当者が中心ではなく職員全体で立案していく。それにより、より多面的また、手作りのおやつや言語聴覚士による訓練等、様々な特色のある活動を実施していても、外部への情報発信不足により、周知されていないことが分かった。そのため、保護者や外部へ向けて、広報誌やホームページ等などを活用し、情報の発信に努めていく。

さらに、当法人は、放課後等デイサービスだけではなく、就労B型や生活介護も併設している。そのため、児童期だけではなく、成人期までの切れ目のない一体的な支援ができる強みがある。そこで、今まで以上に、他事業所の職員とも連携を密に図り、特色ある療育プログラムの体系づくりに取り組んでいく。

関係機関との連携については、利用者が現在利用している学校や相談事業所との連携が主である。就学前の幼稚園等や卒業後の進路先については、連携の機会が少なかったので、積極的に情報共有に努めていく。